



小平町議会
議長 岩倉 晃

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成20年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には平素より当議会に対し、格別なるご支援とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。顧みますと、昨年は町民の生活を脅かすような災害等の発生は無かつたものの、観測史上記録的な少雨に見舞われ、農作物の生育に多大な影響を及ぼす恐れがありました。幸いにして一部の作柄を除き、一昨年同期、豊穣に恵まれ平穏無事に一年を終えることができました。

しかしながら、長引く原油価格の高騰や食料品、生活用品等の値上がり、国民の生活に暗い影を落とし、私たちの生命を育む「食」の安全、安心に対しても大きな関心が寄せられたところです。

また、選挙によって生じた「ねじれ国会」により、政治は益々混迷を極め、首相の交代や大連立構想が浮

上するなど国民不在の政治姿勢が一層浮き彫りとなった一年でもありました。

さて、先行きが不透明な社会経済情勢にあつて、新型交付税の導入や財政健全化法の施行など、とりわけ地方自治体を取り巻く行財政環境も一層厳しさを増す中で、自治体が果たすべき役割は益々重要なものとなつており、将来を見据え地域の実情に即した行財政運営が強く求められているところであります。

このような中、私ども議会の果たす役割も益々重要となつており、地方自治の要として皆様の意見を聞きながら、生の声を町政に反映させるべく全力をあげて取り組むと同時に、高度情報化社会により様々な情報が氾濫する中、情報の真意を的確に判断し、将来に向かって最良な「小平町」のあるべき姿の羅針盤となるべく、議員一同、努力してまいりる所存でありますので、今後ともより一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに町民の皆様の方々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。小平町議会を代表して新年のご挨拶とさせていただきます。

新年ごあいさつ



小平市
市長 小林 正則

新年明けましておめでとうございます。

小平町民の皆様におかれましては、ご健勝にて爽やかな新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

今年、小平町と小平市が同名の自治体のよしみで交流を深め、早いもので30年目を迎える記念すべき年となります。

この間、教育・文化そして産業などの交流を図り、交友と理解を深めてまいりました。

少年少女交歓交流事業では、これまで多くの子も達が、楽しい思い出と多くの友達を作り貴重な財産となりました。今年、小平町から子ども達が小平市に來られますのを楽しみにしております。

また、毎年、小平産業祭り、小平市民まつりにおける親善訪問、小平市産業まつりを通し、文化と産業の交流を深めてまいりました。毎年、町民の皆様方の心温まる歓

迎をいただき感謝をいたしております。

今、地方自治体をとりまく環境は、大変厳しくなつてきております。地方自治体が自立するためには、住民と行政の協働はもろろんですが、地方自治体間の相互理解と連携そして、助け合いが大切となつてまいります。

自治体自立のためにも、交流を進展させつつ、今後とも交友関係を未永く続けてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

小平町のますますのご発展と、町民の皆様方のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

